

令和 5 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市勤労会館	所管課	労働雇用課
所在地	岐阜市曙町四丁目19番地1		
指定管理者名	岐阜地区労働組合協議会 会長 中山 順二		
指定期間	令和4年4月1日 ~ 令和9年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	4,672,000円(電気料金等増額分含む)		
施設の設置目的	勤労者の福祉を増進し、合わせて文化、教養の向上を図る		
施設概要	鉄筋コンクリート造2階建、床面積:383.27㎡ 多目的ホール、貸室(2室)		

●利用状況

		R5上半期	R4下半期	R4上半期	R3下半期	R3上半期
利用者数(単位:人) ※多目的ホールのみ		3,062	3,264	2,966	2,767	1,916
各室稼働状況(%)	貸室1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	貸室2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	多目的ホール	51.0	58.7	50.5	47.3	50.7

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間・及び使用許可基準の遵守 ②適切な人員配置及び人材研修の実施 ③広報の方策 ④利用者からの意見を聴くためのアンケートボックスの設置 ⑤苦情への対応	①使用許可基準は遵守されており、適切な運用が行われている。 ②適切に人員が配置されており、定期的な職員研修を実施している。 ③広報活動については、季刊誌の発行により施設の周知を図っている。 ④アンケートボックスを設置する等、利用者の意見聴取を前向きに行っている。 ⑤施設利用者からの要望・苦情には都度適切に対応している。
施設管理	①施設及び設備等の管理 ②施設内の清掃業務 ③設備の保守点検業務	●随時巡視点検を行い、適切な管理が行われている。 ①消防用設備点検(6/5) ②日常清掃及び定期清掃(4/17、9/25) ③空調設備保守点検(5/8)
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	●施設の状況について、日常業務の中で把握し、適切な修繕を実施している。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市勤労会館個人情報マニュアルを作成し、各職員が個人情報保護の徹底に努めている。 ②消防訓練等を実施し、緊急時の適切な対応策を講じられている。 ③関係法令を遵守した運営が行われている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ●会館利用者アンケート調査は上半期・下半期に分けて年2回実施しており、今回上半期は8月1日から8月31日の期間実施した。 ●上半期の会館利用者アンケート調査の回収率は、74.4%（配布枚数129枚、96枚回収）。
利用者アンケートの実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者年齢層は、70歳代31.3%、60歳代27.1%と両方で約60%、次いで50歳代17.7%、40歳代15.6%という状況であった。 ●職業は、自営業が36.5%、無職が30.2%で約70%を占めた。 ●施設の市内利用者は、63.8%であり、岐阜市公共施設として一定の役割をはたしている。また県内の岐阜市以外の市町の利用者も26.6%であり、遠くは毎回郡上市からの利用者がある。 ●利用者の94%が自動車にて来館、自転車、バイク、公共交通機関の利用者は少なく6%であった。 ●よく利用する曜日は、特に決まっていない曜日が22.5%と一番多く、水曜日以外の曜日はほとんど同じであった。時間帯は平日の17時以降が最も多く、次いで平日の午前、土・日・祝日の午後、夜間の順となっている。利用頻度は、月に「1～2日」が48.4%、週に「1日～2日」が45.1%、両方で約94%であった。 ●現役世代は、会議・研修・講習会などの業務を中心とした利用が多く、高齢の利用者は文化・レクリエーションでの利用が多い。 ●スタッフの対応は「ふつう、満足、ほぼ満足」の順で9割強であるが、中には不満という人もいた。 ●勤労会館は、友人・知人の紹介で知った利用者が一番多く、講習会等は主催者からの案内、習い事の先生からが多く、岐阜市ホームページで知ったという利用者もあつた。 ●設備、備品では、「ふつう、満足、ほぼ満足」の順で94.6%であり、「やや不満・不満」は5.4%であった。「やや不満・不満」の理由としては、長机の置き場所の変更、大きな鏡の希望者が多数あつた。
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<ul style="list-style-type: none"> ●土曜日ダンスの使用者様の後、床が真っ白になるという意見に対して、パル職員が気を付けて掃除を行うことにした。同時に使用者様への使用後の掃除もお願いした。 ●多目的ホールの会議机の置き場所を考えてほしいという意見は、置き場所がないので現状のままとし、今後の検討課題とする。 ●大きな鏡がほしいという要望は、費用対効果を検討する。 ●エアコンのフィルターが汚れているという苦情に対して、(株)ダイワテクノと(株)創美に確認したところ、どちらも契約に入っていないという事で、職員による清掃で対応することとした。 ●ダンスの更衣スペースの要望には、第一会議室を利用していただくこととした。(但し、使用していない時のみとする。)

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・条例等に基づいた管理運営が適正に行われているか。また、そのためのモニタリングは実施されているか。	A	A	A
		個人情報の保護等	・個人情報の保護についての管理対策は適切に実施されているか。	S	S	S
		広報の方策	・平等利用のための適切な広報活動ができているか。	A	A	A
		情報公開	・市の情報公開制度に基づき適切に実施されているか。また、理解しているか。	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮されること	事業計画の履行状況	・実施計画どおりに事業が実施されたか。また、計画どおりの成果があつたか。	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか。	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及びサービスの質を確保するための体制	・利用者ニーズ等を把握するために、アンケート調査等を実施しているか。また、寄せられた意見に対しては、適切に対応しているか。運営に反映しているか。	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・積極的な広告宣伝の実施により、利用者の拡大を図っているか。	S	S	S
		区分評価			A	
効率性	管理経費の削減が図られるものであること	管理経費削減の具体的方策	・具体的な経費削減の方策を掲げ、管理経費の削減が図られているか。	A	A	A
		予算執行の適正	・適正に執行しているか。また、不要な予算の執行をしていないか。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	・過不足なく適正な人数を配置し、無理のないスタッフ体制となっているか。	A	A	A
		区分評価			A	

安定性 安全性	管理を安定して 行う物的能力、 人的能力を有 していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・各分野での専門知識、経歴や資格を有するスタッフを配置しているか。	A	A	A
		職員の管理・人材育成の方策	・職員の管理は適切に行われているか。また、人材の育成体制は整備され、適切に実施されているか。	A	A	A
		緊急時の対応	・事故、災害等緊急時の対策、対応は適切か。また、防犯に対する対策は適切か。	S	S	S
		施設の管理	・施設の保守、点検等適切に実施しているか。	A	A	A
		区 分 評 価				
貢献性	岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献しているか	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	・業務の再委託先は、原則、地元業者の中から採用しているか。	A	A	A
		その他地元への貢献に関すること	・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか。	A	A	A
		区 分 評 価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 会館施設管理については、職員研修会を中心に利用者の苦情・要望等の情報について共有化し、対応・対策を徹底することができた。 ● 会館利用率の向上に向けては、既存団体への積極的な声掛けや労働団体等へ新規利用の呼びかけ等を行った。 ● 会館利用者の要望に対する考え方については、会館だけで具体的な対策・対応について周知を図ることができた。 ● 会館指定管理費については、年度当初から厳しい財政事情となっており、できるだけ経費削減に向けて取り組みを進める。 ● 新型コロナウイルス感染症の5類変更となったが、各所へ消毒液の設置、消毒セットの貸出、定期的な換気など引き続き新型コロナウイルス感染症対策については徹底を図ることができている。
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ● DX推進については、引き続き職員研修等において研究を進める。 ● 来館者の駐車場確保と公共交通機関の利用促進等について検討する。 ● 施設利用率の向上に向けて具体的な取り組み等について検討をする。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 会館消防設備、空調設備、会館外壁修繕をはじめ、備品(机、椅子、スクリーン等)の買い替えや利用者からの要望・苦情に対する対策を進める。 ● 会館の在り方を検討するため、ワーキンググループを設置する。 ● 会館利用率の向上を図るための取り組みを進める。 ● インフルエンザ感染対策について、マスク着用や手洗い励行等の周知徹底を図る。

●所管課の意見

<p>・利用者意見を聴取し、出た意見や要望に対して可能な限りの改善をしている。また、意見については職員研修等で全職員に周知徹底し、利用者サービスの向上に努めている。</p> <p>・人件費や原油の高騰により、管理経費が増加しており、運営が厳しい状況にあるが、引き続き経費節減の徹底をし、適正な管理運営に努められたい。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

<p>・適正に管理されていますので、引き続き経営努力に努めてください。</p>
